

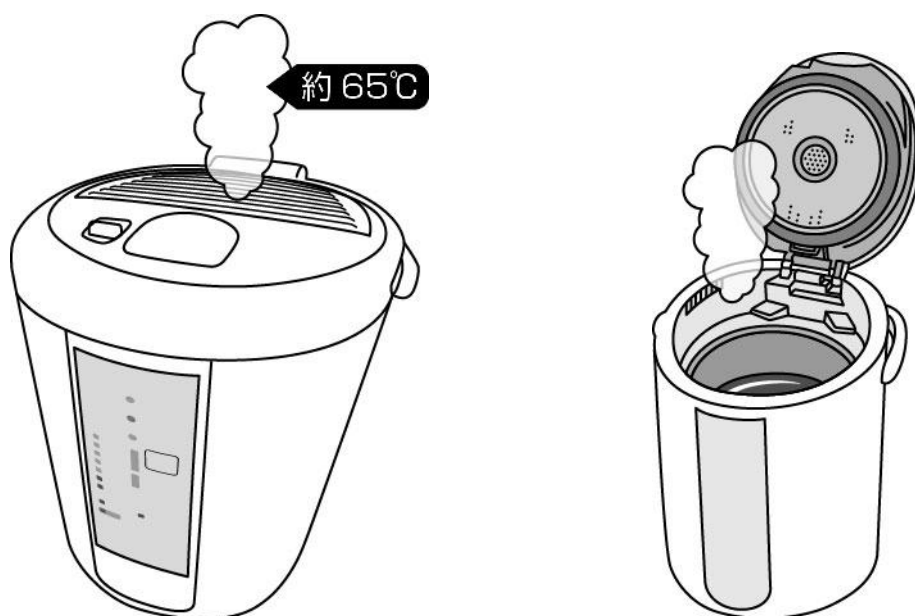
Injury Alert (傷害速報)類似事例

スチーム式加湿器による手指熱傷 (No.93 スチーム式加湿器による背部熱傷の類似事例 6)

㊦

事例	基本情報	年齢：1 歳 1 か月 性別：女児 体重：9.5kg 身長：75cm
	家族構成	父、母、兄（幼児）、本児
	発達・既往歴	特記事項なし
臨床診断名		右第 3 指、第 4 指浅達性Ⅱ度熱傷
医 療 費		入院 0 円 外来 3,070 円
原因 対象	対象名称	スチーム式加湿器（重量 2.3 kg、幅 24cm、高さ 27.5cm、奥行き 26cm、水タンク容量 2.2 L）
	入手経路 使用状況	通販サイトで新品を購入し、冬季は毎日使用していた
発 生 状 況	発生場所	自宅の寝室
	周囲の人 周囲の環境	現場には兄と二人でおり、両親は 10m ほど離れたリビングにいた
	発生年月日	2025 年 1 月 X 日（火） 午後 9 時 0 分
	発生時の 詳しい様子 受診までの経緯	X 日、午後 9 時頃、自宅の寝室で兄と二人で遊んでいた。両親は 10m ほど離れた別室にいたが、本児が啼泣したため見に行くとスチーム式加湿器（以下、加湿器）の蓋が開いておりタンク内の水が加熱されていた。兄が「(兄が)蓋をあけ、本児が中に手を入れた」と話し、本児の右手に触れると泣いたことから、明らかな外観の異常はなかったものの熱傷を疑い、覚知から約 5 分後に 30 秒ほど流水で冷却し、午後 10 時に救急外来を受診した。 加湿器は床に電源を切って置いており、加湿器のスイッチにはチャイルドロック機能が付いていた。チャイルドロック機能は受傷時には使用されておらず、状況から、兄が加熱ボタンを押したと考えられた。製品はポットに類似し、蓋をあけるとタンク内に湯が溜まっている構造であった（図 1）。蓋はロックしていたが、チャイルドロックは効かない仕様であり、幼児でも蓋をあけることが可能な高さ（約 30 cm）であった。

医療機関受診時 以降の治療経過 転帰	救急外来受診時も、外表上は明らかな所見はなかったが、右手の指に触れると啼泣したため、翌日再診とした。X+1日の再診時、右第4指先端尺側5mm×8mmの範囲が白色に変色していたが、びらんはなかった。第3指には所見がなかった。そのため、処置は行わず、自宅で経過観察の方針とした。X+4日頃までは入浴時に患部に湯が触れると啼泣していたが、その後軽快した。X+6日頃より、右第3指、第4指が先端から厚く表皮剥離を認めた。X+15日の再診時には、剥離した表皮の下に正常上皮を認めた。その後も皮膚欠損や色素脱失、しびれの残存などなく軽快した。
キーワード	スチーム式加湿器、熱傷



(図 1) 製品のイラスト